

科目	化学基礎	学年	第2学年	開講	通年	必修	2単位
----	------	----	------	----	----	----	-----

教科書： 実教出版化学基礎
副教材： カラーノート化学基礎

1 学習の到達目標

教科書の内容を理解し、一般常識レベルの化学の知識を身につける。

2 学習計画及び評価方法

- a 知識技能
- b 思考・判断・表現
- c 主体的に学習に取り組む態度

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考 査	評 価 の 観 点		
							a	b	c
前 期	物 質 の 構 成	物質の構成	物質の成分	・物質を正しく分類し、混合物の分離法を答えることができる。 ・三態を粒子的に理解し、図示できる。	4	中 期	○	○	○
			物質の構成元素				○	○	○
			物質の三態		○	○	○		
		原子の構造と 周期表	原子の構造	・原子の構造を図示できる。 ・電子配置と周期表を正しく結び付けられる。	5	期 末	○	○	○
			電子配置				○	○	○
			周期表				○	○	○
		化学結合	イオンとイオン結合	・それぞれの化学結合を理解し、結晶の性質と関連付けられる。	6	○	○	○	○
			分子と共有結合				○	○	○
			金属と金属結合				○	○	○
		物質の分類	物質の分類	○	7	○	○	○	○
			原子量・分子量・式量				○	○	○
			物質質量				○	○	○
前期 授業評価									
後 期	物 質 の 量	物質質量	物質質量	・物質質量計算・濃度計算を正しく行える。 ・主な物質の化学式を暗記し、化学反応式を書くことができる。 ・化学反応式から量的関係を答えることができる。	9	中 期	○	○	○
			溶液の濃度				○	○	○
			化学反応式		10	○	○	○	
			量的関係			○	○	○	
		酸と塩基	酸と塩基	・主な酸や塩基の化学式と性質を答えることができる。 ・典型的な中和の反応式を書くことができる。 ・中和滴定の器具名や指示薬名を答え、公式から濃度や体積を求めることができる。	11	期 末	○	○	○
			水素イオン濃度とpH				○	○	○
			中和反応		12	○	○	○	
			塩の性質			○	○	○	
		酸化と還元	酸化と還元	・主な酸化剤や還元剤の化学式と性質を答え、半反応式を正しく暗記する。 ・半反応式を組み合わせてイオン反応式をつくることができる。 ・量的関係を答えることができる。	1	○	○	○	○
			酸化剤と還元剤				○	○	○
			金属の酸化還元反応		2	○	○	○	
			(酸化還元反応の利用)			○	○	○	
後期 授業評価									

3 評価の観点

暗記すべきことが覚えられたかどうか。/ 平易な計算問題を解くことができたかどうか。これらを試験の得点率によって評価する。また折に触れて提出物を求め、これを学習に取り組む姿勢として評価する。

4 観点別評価の評価基準

3観点	評価方法	評価基準
知識・技能	定期考査	極めて基本的な内容が理解/暗記できているかを数値化する。
思考・判断・表現	定期考査	教科書の章末問題程度の問題の解答力を数値化する。
主体的態度	小テスト・提出物・レポート等	課題やレポートなどの提出物、授業中の応答の巧拙を数値化する。